

Multilingual Electronic Newsletter

多言語メールマガジン

かごしま南の風便り

Kagoshima Southern Wind Tidings



VOL.191

▽トピックス

1 国際行政事務補助員のコラム

- 南薩へGO!

2 知事の動き

- ベトナム航空日本支社アイン総支配人と意見交換会を行いました(8月9日)
- アジア都市サミットに係る歓迎レセプションで祝辞を述べました(8月22日)
- 令和6年度鹿児島県焼酎輸出拡大等プロジェクト小委員会に出席しました(8月24日)

3 かごしまの国際交流

- 清華大学の学生が訪問されました。(7月19日)
- ブラジル鹿児島県人会長が訪問されました(7月29日)
- 令和6年度鹿児島県県費留学生のみなさまが訪問されました(8月23日)

4 観光かごしまのイベント情報

- 第22回鹿児島錦江湾サマーナイト大花火大会

国際行政事務補助員のコラム

● 南薩へGO! ●

みなさん、こんにちは！

今回は夏の終わりの鹿児島県内視察の様子をお届けします。

中国と韓国の国際交流員が4月に来鹿してから早5ヶ月。
今回は青い海と緑の大地の雄大な自然がいっぱいの南さつま方面に鄧さんと金さんの二人をお連れしました。



まずはしっかり腹ごしらえに知覧茶そば。
緑色の蕎麦が食欲をそそります。
通常のそばの風味に加え爽やかなお茶の香りが
鼻を抜け、夏でも非常に食べやすいと、お2人
もおっしゃっておいりました。
鄧さんも金さんも完食です。



続いて知覧武家屋敷群へ。

鹿児島県内には武家屋敷群がいくつかありますが、知覧の武家屋敷群は、領主島津久峯が、藩主の参勤交代で江戸から戻る道中で接した京の文化を持ち帰ったとされ、国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定されています。
大きな石垣と丁寧に手入れのされた緑色の生け垣がとても印象的で、舗装された道を歩きながら遠い薩摩藩の時代に思いを馳せました。

最後は有機栽培の知覧茶専門店である知覧農園へ。

知覧茶は、鹿児島県南九州市で生産されているブランド緑茶で、南九州市でとれたお茶のことを言い、市町村別生産量日本一を誇ります（国内生産量の約15%）。

南九州市は、桜島の火山灰によってつくられた水はけのよい肥沃な土壌、一年を通して温暖な気候、豊富な日照などおいしいお茶を生産する条件が揃っています。

知覧農園では温かいお茶と冷たいお茶をそれぞれ試飲させてもらい、抹茶パウダーのたくさんかかった抹茶ソフトをいただきました。

知覧茶の豊かな香りと程よい渋みを感じられるご当地ならではのソフトクリームでした。

他にも日本三大砂丘の一つである吹上浜やウイスキーの蒸留所、マリンレジヤースポットとしても有名な坊津など、見所がたくさん南薩地域。

一日ではとてもまわりきれず、また別の季節にも是非訪れたいと話しながら帰路につきました。

南さつま市観光協会 HP：<https://kanko-minamisatsuma.jp/>



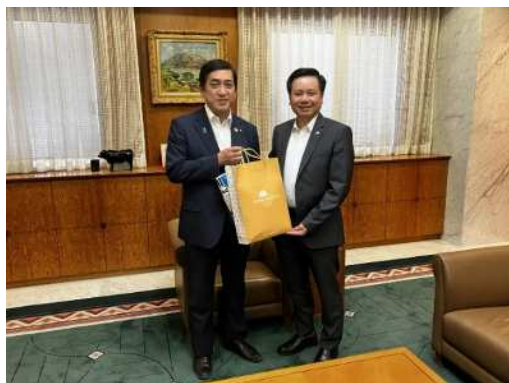
知事の動き

- ベトナム航空日本支社アイン総支配人と意見交換会を行いました（8月9日）●

ベトナム航空日本支社のゴー・シー・アイン総支配人と鹿児島-ベトナム定期便就航に向けた意見交換を行いました。

本県は、昨年11月、ベトナム航空及び（株）エイチ・アイ・エスとの間で、鹿児島-ベトナム定期便就航に向けた連携協定を締結しており、今年3月に引き続き、このたび、12月30日から来年1月3日の日程で、2WAYチャーターフライトの運航が決定しました。

今後も、定期便就航に向けて、航空会社への支援や現地での旅行会社等へのセールスやプロモーション等に取り組んでまいります。



●ゴー・シー・アイン総支配人と



●意見交換会の様子

●アジア都市サミットに係る歓迎レセプションで祝辞を述べました
(8月22日) ●

アジア太平洋地域の諸都市間の相互協力やネットワークの構成を図るために1994年に福岡市により提唱され、30年目を迎える今年、初めて鹿児島市にて開催されたアジア都市サミットの歓迎レセプションに出席し、あいさつをさせていただきました。

鹿児島県に来られたアジア太平洋の各都市の皆さま及び国内の各都市の皆さまに歓迎を申し上げるとともに、世界各国で生じている気候変動等の課題解決に向けて、ご参加の皆さま方が情報共有および連携を行い、持続可能な社会形態のシステムが実現することを期待していることをお伝えしました。レセプションでは、本県の食材を使用したさまざまな料理が振る舞われるとともに、ステージ上では、桜島火の島太鼓保存会の皆さまによる和太鼓の演奏が行われたほか、石原和幸氏によるフラワーパフォーマンスの披露がありました。



●挨拶の様子

●令和6年度鹿児島県焼酎輸出拡大等プロジェクト小委員会に出席しました
(8月24日) ●

令和6年度鹿児島県焼酎輸出拡大等プロジェクト小委員会が開催され、県産本格焼酎の輸出促進に向けて、県酒造組合をはじめ関係機関・団体の皆さまと協議しました。

会議では、今年度の海外活動計画について確認したほか、輸出で先行する日本酒の取り組み事例や、フランスやインドの酒類市場の現状や課題について共有し、継続的な取り組みの重要性を再確認しました。

県といたしましては、国や県酒造組合など関係の皆さまと緊密に連携しながら、鹿児島が世界に誇る「本格焼酎」の更なる輸出拡大に向けて戦略的に取り組んでまいります。



●委員会での発言の様子



●委員会の様子

かごしまの国際交流

●清華大学の学生が訪問されました。（7月19日）●

清華大学外国語学部の孫彬準教授をはじめとする清華大学の学生ら計18名が県庁を表敬訪問されました。

孫準教授からは、鹿児島県の豊かな自然や歴史に感心したこと、鑑真や西郷隆盛の教えに感動し、大変充実した日々だったと話がありました。また、参加した学生からは、屋久島の自然など、現地を訪れながら学ぶ事のできる時間になったと話がありました。

塩田知事からは、今回体験されたことが、皆さんの将来にとって良い経験になることを期待していること、そして、また鹿児島にお越しいただき、鹿児島の多彩な魅力を楽しんでいただきたいとお話しました。



●清華大学の学生の皆様と

●ブラジル鹿児島県人会長が訪問されました。（7月29日）

ブラジル鹿児島県人会の文岡セルジオ正樹会長が県庁を表敬訪問されました。

文岡会長からは、昨年開催された「ブラジル鹿児島県人会創立110周年記念式典」の記念誌の贈呈を受けるとともに、記念式典出席について感謝の言葉をいただきました。

今後とも、これまで築き上げた交流をもとに、ブラジル鹿児島県人会との交流・協力関係を一層発展させていきたいと考えております。



●文岡セルジオ正樹会長と



●表敬の様子

●令和6年度鹿児島県県費留学生のみなさまが訪問されました（8月23日）●
ブラジルとペルーから令和6年度鹿児島県県費留学生として来られている皆さまが訪問されました。

県費留学生は、本県移住者の子弟を受け入れ、勉学に励んでいただくとともに、帰国後は、本県との架け橋として、相互の経済・文化交流の促進に寄与していただくことを目的に、昭和45年の事業開始以降、これまで148名の方々にお越しいただいております。県費留学生からは、日本語をもっと勉強し、大学での勉強も鹿児島での生活もより充実したものにしたいとお話がありました。知事からは、勉学に励んでいただくとともに、鹿児島の美味しい食材やお酒を味わっていただき、母国に帰ってからも鹿児島の良さを広めていただきたいとお話がありました。



●3名の県費留学生の皆さんと



●表敬の様子

観光かごしまの旬の情報

●第22回かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会（8月24日）●

世界有数の活火山桜島と波静かな錦江湾という世界に誇れる自然景観を背景に開催する九州最大級の花火大会です。

毎年1尺玉連発や2尺玉の2発同時打ち上げなどこだわった演出で、約15,000発の花火が夏の夜空を彩ります。

22回目となる今回は、能登半島地震復興祈念花火や、恒例の2尺玉同時打ち上げ、大玉含む2,222連発による音楽花火フィナーレなど見どころ満載でした。

花火の発数：約15,000発



●フィナーレの様子

